

42年ぶりに7000円割る

昨年のケレ5.2%減の6988円

昨年(2013年)の1世帯当たり平均支出額は、前年(2012年)より約42万世帯増の7000円を下回った。これを前年と比較すると、179億円(4.5%)減となる。

1世帯当たり支出額が7000円を下回るのは、1971年(昭和46年)の6740円以来42年ぶりとのこと。総需要が53%減となった。

◆地方別クリーニング支出金額

地域	2013年	2012年	増減(%)
全国	6,988	7,372	▲5.2
北海道	6,172	8,634	▲28.5
東北	6,846	7,070	▲3.2
関東	7,691	8,107	▲5.1
北陸	8,052	7,345	9.6
東海	6,710	7,350	▲8.7
近畿	6,681	6,440	3.7
中国	6,637	6,638	▲0.0
四国	5,835	8,745	▲33.3
九州	6,354	6,432	▲1.2
沖縄	2,486	3,306	▲24.8

◆年間支出と総需要の推移

年	1世帯当たり支出(円)	総需要(億円)
1992(平成4)年	19,243	8,170
1993(平成5)年	18,834	8,113
1994(平成6)年	17,883	7,809
1995(平成7)年	17,103	7,566
1996(平成8)年	16,304	7,309
1997(平成9)年	15,429	7,020
1998(平成10)年	14,361	6,629
1999(平成11)年	13,778	6,450
2000(平成12)年	12,456	5,907
2001(平成13)年	11,029	5,296
2002(平成14)年	10,825	5,265
2003(平成15)年	10,069	4,960
2004(平成16)年	9,941	4,954
2005(平成17)年	9,485	4,779
2006(平成18)年	9,063	4,631
2007(平成19)年	8,890	4,597
2008(平成20)年	8,849	4,630
2009(平成21)年	8,131	4,299
2010(平成22)年	7,795	4,160
2011(平成23)年	7,281	3,916
2012(平成24)年	7,372	3,994
2013(平成25)年	6,988	3,815

992年)との比較では、1世帯支出額が64%減、総需要が53%減となった。

昨年の支出を月別に振り返ると、4月の2ケタ減(17.1%減)が非常に大きく、翌5月はプラスとなったものの、わずか1.2%増にとどまるなど、この統計では非常に厳しい春となった。4月以外にも、1、2、6、7月が2ケタ減で、プラスとなったのは3月(6.0%増)、5月(1.0%増)、9月(4.2%増)のみ。

1%増、11月(10.9%増)、12月(10.6%増)の5か月、年末は連続2ケタ増となったが、「年明けはさっぱり」との声が多く、先行きは不透明だ。

なお、勤労者世帯は7600円で、前年の8172円から572円(7.0%)のダウンとなっている。

全国・二人以上の世帯の支出額6988円に、1世帯当たり支出額は1992年(平成4年)の1万9423円をピークに2011年まで減少を

利用回数についても、全国・二人以上の世帯が4.93回(前年5.29回)、勤労者世帯が5.79回(6.03回)といずれも前年を下回った。

2013年の支出額を地方別にみると、上表のようにプラスとなったのは北陸と近畿だけと全国的に苦戦。なかでも北海道、四国、沖縄は20%以上の落ち込みとなったが、この3か所は前年2ケタ増となっていたところ、その反動が出たとも考えられそうだ。

日本機械工業連合会会長賞を受賞

TOSEIの洗濯乾燥機

優れた省エネ性能が高く評価



TOSEI(本社・静岡県伊豆の国市)が、静岡県伊豆の国市、荻原(優社長)が中部電力、関西電力と共同開発し、昨年7月より販売している「業務用ヒートポンプ式洗濯乾燥機 SFS-322HP」が、一般社団法人・日本機械工業連合会が主催する第34回(平成25年度)優秀省エネルギー機器表において、「日本機械工業連合会会長賞」を受賞した。ランニングコストが省エネ性能が高く評価された。

このままでは大幅な省エネは難しい。そこで同機では、従来の業務用機と同等の最大115℃の乾燥風を生産可能なヒートポンプを搭載することで、省エネルギーを実現。その冷媒も不燃性で地球温暖化係数が1の自然冷媒(CO2)を採用するなど、安全性と環境性にも優れている。

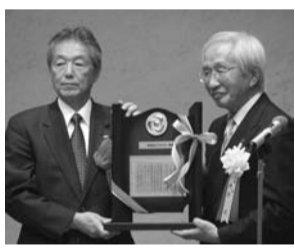
1台で40床程度の施設に対応でき、従来機(LPガス式)と比較すると原油換算にて年間1.0klのエネルギー使用量が削減(削減率14%)で

東洗の三科健次郎氏逝去



(株)東京洗染機械製作所(本社・東京都目黒区、三科隆社長)前社長で取締役相談役の三科健次郎氏が病氣療養中のごとく2月3日に逝去。享年85歳。既に密葬が執り行われ、3月に社葬が開かれる予定。

三科氏は、創業者・三科政治氏の後継として昭和41年、代表取締役として



先月4日に表彰式が行われた。左が荻原社長

き、年間4.8トンのCO2排出量を抑制(削減率29%)。ランニングコストも年間36万円の削減が期待でき、同機導入の増分費用は約4.6年で回収できるという。

なお、業界での同賞の受賞は、アサヒ製作所(第24回・15年度)、東

15施設に配布

みよりの箱募金

全ク連と(株)文化放送、関東一都六県の組合(茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)では、「クリーンライフみよりの箱募金」の募金活動を展開し、組合員店への募金箱設置、CLV21全国展、全国クリーニング大会等で募金活動を行ってきた。集まった浄財は厚生労働大臣に贈呈後、社会福祉法人中央共同募金会を通じて、一都六県の社会福祉施設に配分される。

この度、第28期(平成24年9月1日〜平成25年8月31日)に集まった浄財170万円の配分結果が社会福祉法人中央共同募金会より公表され、34施設に配布された。施設からは、事務作業用のパソコンや作業場のヒーターが購入できたと喜びのお礼状が届いているという。

全ク連では、今後も各種機会を通じて募金活動を行い、社会福祉に貢献していくとしている。

全協3月13日に第45回通常総会

全国クリーニング協議会(野田直樹会長)は3月13日(木)、東京・五反田のゆうぽうとで平成26年度・第45回通常総会を開催する。13時より。総会の後、14時20分

業界並びに関連産業の発展に貢献した功績により、勲四等瑞

品質と環境に優しいクリーニングを提案しています。

NEW



ラブネットエクセラシリーズ ECO-22DX

- ◆簡単操作の高性能マイコン
- ◆抜き物洗いなど多目的洗いに幅広く対応
- ◆洗濯量に合わせた節水機能
- ◆80℃・10分の衛生洗いに対応

ソルカン365対応 DSシリーズ

- ◆ダブル回収システムでランニングコスト低減
- ◆衣料に優しいマイルド洗浄
- ◆万全の安全対策
- ◆地球にやさしい溶剤



お客様の未来をかたちに
「きびしいと安心」の住商アイナックス



住商アイナックス株式会社 本社/東京都品川区大崎5丁目1-11 住友生命五反田ビル TEL(03)3493-5391 〒141-0032

http://www.inax-corp.co.jp

●支店/札幌・東北・営業1部・営業2部・名古屋・北陸・関西・中国・九州 ●テク/サービス/岩手・新潟・栃木・高崎・北関東・東関東・南関東・厚木・静岡・岡山・四国

エンジニアリングパートナー: (株)稲本製作所 (株)山本製作所